

なべ た 鍋田

鍋田自治区データ

(H27年10月1日現在/市HPより)

世帯数：65世帯	自治区戸数：51戸
人口：165人	組数：4組
平均年齢：52.47歳	高齢化率：40%
面積：127.5ha	
小学校区：九久平小学校	
自治区たより：ちごもり	
集会所：鍋田区民会館（平成12年度建築）	



乳子守神社を中心に自治区民みんなで支え合い助け合うことを表現した。



鍋田の概要・歴史

鍋田町は、松平橋から北へ500mほどの巴川左岸に位置します。昭和初期まで農業、林業と養蚕を中心としました。昭和7年の水害により加茂川・滝脇から移住があり、電力によるガラ紡が始まりました。昭和35年以降は会社勤めの家庭が増えました。

そのほか鍋田といえば、安産の神様乳子守神社や石塔の鍋田石が有名です。



石切場跡（鍋田石と呼ばれる良質の花崗岩採掘跡）

昭和36年11月の松平町への町制施行の時に鍋田と曲りが統合し、昭和45年4月の豊田市合併により鍋田町となりました。

名所・旧跡

乳子守神社（安産の神様として有名。鍋田住民が天文4（1535）年に白山の宮を勧請して「千子の宮」と称して安置したのが始まりといわれている。境内の灯籠は、滝脇陣屋の領主松平数馬が天保12（1841）年に奉納したものである。）



- ・お社禺神（社口神、村開拓の守り神）
- ・報徳神社遷拝所の碑（二宮尊徳翁が祭神）
- ・神明社跡の碑（合祀された曲り神明社の本殿跡）
- ・国谷熊野神社御手洗池の碑（池で手洗い参拝）
- ・明治天皇大葬遷拝所の碑（大葬の日の遷拝所）
- ・梟ヶ城（創築・廃城時期不明。標高254mの通称「城段戸」山頂にある。「曲り村誌」によると「一夜梟しきりに鳴きて敵襲を告ぐるが如し、よって城中戦備を整えて待つ。果して敵襲ありしも撃退するを得たり」という伝説がある。）

◆ 鍋田自治区民憲章 ◆

乳子守の里
緑の山々に囲まれ
自然守る鍋田川
歴史と文化を尊重し
鍋田住民が潤う
町づくりに協力します

(内訳)

- 乳子守神社の神殿ある村（安産の神様）
- 梟ヶ城含め緑たがさぬ山々に囲まれ
(王滝渓谷と山々)
- 自然環境保護、蛍の里、滝壺公園、名もない
自然橋ある鍋田川
(東組～本郷組～高嶋組まで流れる自然ある川、
巴川含め)
- 歴史 石碑（各種記念碑）工業（特紡、ガラ紡）
鉱業（鍋田石、石材）
文化 庚申信仰、御岳信仰等々
- 鍋田に住む区民が、楽しく過ごせ、隣家同志
が親しむ環境に向け
- 鍋田の発展の為に、協力することを誓います。



鍋田音踊

昭和10年頃制作、作詞作曲者不詳

1. おらが鍋田は 乳子守様よ
愛の結晶の 子を守る
安産願うて 椎の葉を受けりゃ
産婆遅れて 赤い顔
鍋田良いとこ 産(うぶす)の神 産の神
2. 東山 夕日にやけて
宵の明星が きらきらと
ままよ流そか 巴の川に
やるせない身を 歌にきく
鍋田よいとこ 景色どこ 景色どこ
3. おらが鍋田で 糸錘ぐ乙女
年は18 綿の花
第三日曜に ちよいと出て会おか
窓にあの娘の 影を待つ
鍋田よいとこ 錦糸どこ 錦糸どこ



鍋田の課題

- 高齢化が進んでいるため、区民のふれあい交流に努めたい
- 現在国道301号松平バイパスが松平橋から鍋田町内を通るため、市道の改良計画も決まり、工事も始まるが、区民の迷惑にならないようまた利用しやすい地域になるよう対応していく必要がある。



行事・おまつり

10月第1日曜日：秋の大祭とふれあい祭り（餅投げ）、前日には区民・子供会・老人会による餅つきをしてふれあいに努める。

- ・元旦祭
- ・敬老会
- ・防災訓練
- ・健康講座
- ・年2回の環境美化作業
- ・交通安全運動立哨活動

